



# T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

国際ロータリー 第2750地区  
創立2004年12月8日  
東京六本木ロータリークラブ

**超我の奉仕**  
国際ロータリークラブ会長

知り合って、楽しく学ぶロータリー  
東京六本木ロータリークラブ会長

## WEEKLY REPORT

2005. 12. 5

No. 19

— 卓 話 —

「ブッシュ政権と日本」

ジャーナリスト

松尾文夫様



私の祖父も父も職業軍人でした。私自身終戦のとき小学6年生で、最初のアメリカとの出会いが敵としてのアメリカでした。それを原点に、何故アメリカと戦争したのか、アメリカを考える活動を続けております。

ポイントを3つに整理してご報告させていただきます。一つは、日本とアメリカはすれ違っているのではないかという問題です。メジャーリーグ情報が茶の間に流れ、政治、経済、軍事的にも世界に例が無いほど緊密ですが、実質的な部分で果たして日本はアメリカをどこまで捉えているか。明治以後ずっとアメリカをきちんと捉えていなかったと思うんです。岩倉使節団が明治2年にアメリカ、欧州を回るんですけど、すべて欧州に傾斜した。特にドイツのビスマルクから先ず武力を持つよう説かれて、結局、使節団帰国後の日本の流れは富国強兵。そして戦前の日本のエリートの留学先は欧州が第一。そういうアメリカを見下すようなカルチャーが戦前の日本にあった。また現在の日米の構造改革は、これはマッカーサー占領が日本の官僚制度、規制を中心に経済が成り立つ日本のシステムを残したことが失敗であったと言うアメリカの学者がいっぱいおります。

2番目は、アメリカが中国、北朝鮮との間に日本にはない関係を持っているという側面です。例えばアメリカの宣教師が1824年ぐらいから入っていて、中国の中に小さな近代化のインフラを作った。毛沢東の始めた共産主義も、紹介したのはアメリカのジャーナリストでした。ブッシュさんはアスパックのあと中国で対談しました。大事なのは、中国政府がブッシュさんが中国を去るときはハッピーでストロングなリーダーに仕立てて帰そうと対処したことです。元の通貨問題、繊維の輸入規制の問題など非常にアメリカ側にソフトな対応で、正面から対立してもおかしくない状況にもかかわらず非常に円熟した関係で成り立っている。北朝鮮との間では、アメリカの大学が北朝鮮から工業大学の学生を呼んでITの研修をしている。その金は先ほど申し上げた中国宣教師の息子で、戦前にタイムマガジンという雑誌を出して、当時非常に大きな影響力を持ったメディアの財団が出して、その下で交流が行われている。

最後は、日米戦争のけじめが日本とアメリカの間で出来てないのではないかということ。日本にとって重要なのは、原爆を含む無差別な戦術で大きな犠牲を出したことにアメリカ人が非を認めること。日本とアメリカが本当にいい関係を築くためには、もう一度原点に戻る必要があるのではないかということ。是非お考えいただきたいと思います。





## ニコニコBOX報告

平岩共代さん井上象英さん 恵比寿10周年に、多く(東京恵比寿RC)の方にご来場いただきありがとうございます。本日は、1月31日の山の手東グループIMのキャラバンに参りました。

大橋 寛治さんこの度、計らずもフィンランドより「コマンダーオブライオンズオブフィンランド」という勲賞をいただきましたので。

小島 篤さんもう、師走の声が聞こえてきました。昨年の今頃はチャーターナイトの準備でテンテコ舞でしたね。

松本 智さん土曜日に青梅の方へゴルフへ行きましたが、紅葉が素晴らしくて目の保養になりました。秋深しですネ。

中島 信二さん今月は、家内と誕生日月でした。

脇若 英治さんやっと日本に戻ってきました。

浅田 豊久さんアメリカンフットボール公式戦で母校の高校・大学共決勝戦に進出しました。

山本 良樹さん先週欠席しました。今月は結婚記念日でした。

竹内 和弘さんお蔭様でクリスマス例会 100人とどきそうです??。

安井 悦子さん週の始めはまず例会!月曜日から始まるカレンダーを皆様にお届けしました。

宇佐見千嘉さん2回お休みをしてしまいました。申し訳ございません。

安間百合子さん朝夕めっきり寒くなってまいりました。年末に向け、風邪をひかめよう気をつけましょう。

山口 富久さん秋晴れに感謝を込めて。

DUCO DELGORGEさんIT IS A BEAUTIFUL DAY.

11月28日	合 計	57,000円
	累 計	1,298,000円

## 卓話者の略歴

龍 村 仁 (たつむら じん) 様 (映画監督)

1940年兵庫県宝塚市生まれ。63年京都大学文学部美学科卒業後、NHK入局。

74年ATG映画『キャロル』を制作・監督したのを契機にNHKを退社。インディペンデント・ディレクターとしてドキュメンタリー、ドラマ、コマーシャルなど、数多くの作品を手がける。76年『シルクロード幻視行』でギャラクシー賞、87年『セゾングループ3分CM』でACC優秀賞受賞。同年、サイエンス・ファンタジー『宇宙船とカヌー』で、また92年にはNTT DATASPECIAL『宇宙からの贈りもの・ボイジャー航海者たち』でギャラクシー賞受賞。89年から制作を開始したライフ・ワーク『地球交響曲第一番』を92年に、『地球交響曲第二番』を95年に公開、翌年、京都府文化功労賞を受賞する。97年に『地球交響曲第三番』を公開。2000年、(有)龍村仁事務所を設立。2001年に『地球交響曲第四番』、2004年には『地球交響曲第五番』を公開。現在、第六番を制作中。同シリーズは、全国規模の活発な自主上映会によって200万人にのぼるファンに支えられている。著書に『地球(ガイア)のささやき』(創元社、角川書店)、『地球交響曲(ガイアシンフォニー)第三番 魂の旅』(角川書店)などがある。

## 本日のプログラム

「ガイア理論と21世紀  
-地球は大きな生命体である-」  
映画監督 龍村 仁 様

## 次回のプログラム

平成17年12月12日

「ヨーロッパからみた世界そして日本」  
パリ日本文化会館初代館長  
元NHK特別主幹  
磯村尚徳様

## 東京六本木ロータリークラブ

会 長 小竹直隆 幹 事 小島 篤

会報・広報  
委 員 長 安井悦子

会報・広報  
副委員長 渡辺美智子

〈事務局〉〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3 グランドハイアット東京内 TEL 4333-8773 FAX 4333-8774

〈例会〉毎週月曜日 午後12:30~13:30

〈例会場〉グランドハイアット東京